

令和6年度 第1回公民館運営審議会資料

(1) 報告事項(資料参照)

- 1 令和6年度 芦屋川カレッジ及び大学院
- 2 春の公民館講座の実施状況について
- 3 夏の公民館講座の実施状況について
- 4 公民館音楽会
- 5 講演会・公開セミナー
- 6 常設展示事業
- 7 公民館ギャラリー
- 8 夏休み子ども教室
- 9 にほんご教室
- 10 兵庫県身体障害者社会教育事業
- 10.1 令和6年度 阪神青い鳥学級南支部尼崎教室
- 10.2 令和6年度 阪神くすの木学級芦屋教室
- 11 公民館事業の広報力強化の取組

(2) 協議事項

- 1 令和6年度秋・冬の公民館講座の実施について
- 2 講演会・公開セミナー
- 3 公民館音楽会
- 4 夏休み子ども教室
- 5 兵庫県身体障害者社会学級事業

(1)【報告事項】

1. 令和6年度 芦屋川カレッジ及び大学院

芦屋川カレッジ第41期生及び聴講生, 大学院17期生

内容	コース名	定員	受講生数		
			男	女	計
芦屋川カレッジ第41期	日本文化コース	45	12	18	30
	世界文化コース	45	13	16	29
芦屋川カレッジ	日本文化コース	50	18	32	50
聴講生	世界文化コース	50	22	30	52
芦屋川カレッジ 大学院17期	ヨーロッパ・アメリカ文化再考	100	39	66	105

芦屋川カレッジのプログラムは文部科学省「長寿社会における生涯学習の在り方について」に沿ったものとしています。プログラムの内容としては、

- ①地域社会を知るための学習プログラム、
- ②地域の特性を踏まえた地域参画・社会貢献を支援する学習プログラム、
- ③世代間交流を視野においた学習プログラム、
- ④老後の人生を健康で、自立して生きていくために修得しておくこと

など、多様な学習機会の提供を求められています。

この中で、「地域社会を知るためのプログラム」として今年度は芦屋市民から人気の高い田辺真人先生による歴史・地理、逸翁美術館館長による阪神間モダニズム、芦屋市学芸員による『伊勢物語』と芦屋市のみやび、芦屋文化ゾーンとのコラボとして、谷崎潤一郎記念館元副館長たつみ都志先生の講演、芦屋市立美術博物館学芸員による講演他、厚めの講座数を配置していますが、歴史、地理、文学、美術、建築など芦屋市固有の文化レベルの高さを認識し、芦屋市民が「世界一住み続けたい国際文化住宅都市・芦屋」というスローガンに共感するものとして設定しています。これはまた、「芦屋のことをもっと知りたい」という受講生から継続して上がっている要望に応えるものであり、結果として受講生のアンケート調査結果からも、芦屋市民としての誇りの醸成に結びついています。

更に、(個人の自立のための学び) 健康維持、資産管理、加齢に伴う衣食住や人間関係の変化、介護や医療の基礎知識、年金制度、成年後見の仕組みなど、身体的にも経済的にも自立した生活を送っていくための体系的な学び。(地域参画・社会貢献のための学び) (生活の基礎である情報受発信力の学び) (死生観に関する学び) (学びの循環) などが求められており、それぞれに対応する講座を設けています。

カレッジ定員未達の主な原因は、高齢者の就労が奨励されていることにあると推定しています。また現行の高齢者に入る昭和30年代の年齢段階の人数が少ないこともあり、しばらくは団塊ジュニア世代層が高齢者の年齢に達するまでは、減少傾向がつづくと考えております。

ご参考に、70歳以上まで働ける企業の割合はほぼ4割で、この6年間で15ポイント以上の上昇——厚生労働省「高齢者雇用状況等報告」からみる65歳以降の雇用状況の推移を付けておきます。

66歳以上、また70歳以上まで働ける企業の割合の推移



令和2年国勢調査によると、芦屋市の「主に仕事」に分類される60歳以上の女性の就労者数は男性の38%であり、これが受講生の男女比に反映していると推定しています。

(60歳以上「主に仕事」以外の人数 男性8,095人 女性17,483人)

このような条件下で、受講生拡大のためには如何に芦屋市民の60歳以上のカレッジ入
学有資格者に情報を届けるかが、課題と考えております。

あわせて講義内容もアンケート等により、受講生のニーズを把握し、より良いものに改訂してまいります。

大学院は芦屋市の特徴的な生涯学習プログラムのひとつであり、芦屋川カレッジを修了し、更に深く広範な学びを求める卒業生の要望に応えるものです。従って、カレッジでは多岐な分野の講座を設けていますが、大学院では1年間で学習する統一テーマを設け、理解を深めるため、それぞれの分野に関わる第一人者、大学教授を招聘しています。

今年度は「ヨーロッパ・アメリカ文化再考」とし、世界の政治、経済、文化をこれまで牽引してきたヨーロッパおよびアメリカという地域と、そこに住む人びとの文学、思想、芸術、歴史等を横断的に探究しています。

2. 春の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
開講記念講座 フランク・ロイド・ライトと ヨドコウ迎賓館ーライトから 日本へ/日本からライトへー	4月6日	100	92	92	92	92
西洋美術史講座 バロック美術 ー西洋美術の爛熟ー	全3回 4月15日、5月13日、 6月10日	100	146	105	266	66
日本史講座 おかねの日本史 貨幣は誰が作ってきたのか	全2回 4月13日、7月20日	100	75	61	104	43
サイエンス講座 見えてきた新しい磁石の効果	全2回 5月24日、6月14日	100	62	46	79	32
「世界はニュースだけではわ からない」	全6回 4月20日、5月25日、 6月22日、7月6日 8月3日、9月28日	100	111	—	—	—
田辺真人先生の「文化の歴 史」Part29	全6回 4月18日、5月16日、 6月20日、7月11日 8月29日、9月19日	100	117	—	—	—
芦屋市立病院公開講座	全3回 4月13日、5月11日、 6月8日	90	—	—	147	各回毎 募集
はじめてのスマホ教室	全4回 4月19日、5月17日、 6月21日、7月12日	40	43	35	—	—

3. 夏の公民館講座（7月31日現在）

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
開講記念講座 フランク・ロイド・ライトと ヨドコウ迎賓館 －写真で見る産業遺産－	6月29日	100	71	71	71	71
時空を旅する講座 歴史から見る源氏物語 (後編)	全3回 7月4日, 8月22日, 9月12日	100	96	84	未	未
日本近現代史講座 歴史を物語る学校資料 －奈良女子高等師範学校 附属小学校の記録から	全2回 7月13日, 9月28日	100	37	24	未	未
関西文化に育まれた文学 美術と建築の発展を支えた 人々	全2回 8月19日, 9月2日	100	93	未	未	未
日本美術の魅力 蔦屋重三郎と黄金期の浮世絵	全3回 7月5日, 8月9日 9月27日	100	101	91	未	未
芦屋病院公開講座	7月13日, 8月3日	100	27	27	未	未

4. 公民館音楽会

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
「森の音、人の暮らしの音～ポーランドからの便り～」 湊谷亜由美（ピアノ） 吉村麻衣子（フルート）	全1回 5月11日	100	209	122
「ピアノ X クラリネット X コントラバス X BRASIL!」 中島徹（ピアノ）、鈴木孝紀（クラリネット）、荒玉哲郎（コントラバス）	全1回 6月29日	100	263	110
「珠玉のバロックからロマン派の名曲まで」 村田隆子（ヴァイオリン）、西海奈都子（フルート）、武井泉（ピアノ）	全1回 9月14日	100	8/19〆切	未

5. 講演会・公開セミナー

事業名	実施日	参加人数
こどもむけ絵本の読み聞かせと 工作「保冷剤を使ってスモールワールド」 (こどもの読書週間ポスター展 関連イベント)	5月26日	15名
消費生活セミナー デジタル遺品の探し方・しまい方・残し方 共催 芦屋市地域経済振興課・公民館	9月12日	未
親子ひろば 夏のお話し会と作って遊ぼう！	7月20日	15名
平和セミナー 講演会 女学生田辺聖子の戦争と青春 大河朗読講演『流転の子 最後の皇帝・愛新覚羅溥儀』 関連展示 語り継ぐ歴史展	7月26日 7月31日 7月24日～8月4日	24名
平和セミナー 平和の光 絵本で灯す 展示 平和の絵本パネル展	8月31日 8月17日～8月31日	未

6. 常設展示事業

「こどもの読書週間ポスター展」	4月24日～5月29日
芦屋大学図書館稀覯書展覧会「韓国の文化財」	6月27日～7月7日
『流転の子 最後の皇帝・愛新覚羅溥儀』語り継ぐ歴史展	7月23日～8月4日
「平和の絵本パネル展」	8月17日～8月31日
芦屋大学図書館稀覯書展覧会 第4回「中国の書」	9月6日～9月18日
芦屋大学バレエコース展示「パリとバレエの歴史」	9月26日～10月9日
ヨドコウ迎賓館	10月16日～10月28日
ヨドコウ迎賓館竣工100周年記念事業	12月3日～12月16日

7. 公民館ギャラリー

「あしやY0 写楽会作品展示会」	4月18日～4月20日
「芦屋さくらまつり写真コンクール」	6月5日～6月10日
「淡遊会」	6月12日～6月17日
「魔法の手」	7月10日～7月15日
「写楽会 写真展」	7月12日～7月17日
「芦屋郵趣会」	10月11日～10月14日
「デジイチ会」	10月30日～11月4日
「コミスク展」	11月20日～11月25日

8. 夏休み子ども教室

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 消防署を見学してみよう！（午前）	30	16	24
② ゲーム感覚で楽しく遊びながら体力づくり	30	21	16
③ てん刻教室「好きな一字印を作ろう」（午前）	25	41	22
④ てん刻教室「好きな一字印を作ろう」（午後）	25	32	25
⑤ 絵画教室 ～構図のお勉強～	32	76	32
⑥ オカリナ教室	30	49	27
⑦ 水彩画教室「ひまわりを描こう」（午前）	24	46	28
⑧ 水彩画教室「ひまわりを描こう」（午後）	24	39	29
⑨ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」午前	16	43	15
⑩ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」午後	16	21	15
⑪ 折り紙を楽しみましょう	25	47	27

消防署見学は保護者の方も多く参加され、熱心に見学され、子どもたちから質問も多くでていました。

毎年人気のある水彩画教室ですが、自由に描くのではなく、描き方をもっと教えてほしいという昨年の要望で、今年は構図を描くところから重点を置いた講座を開催してもらいました。出来上がった画は、確かに去年は画用紙の端に偏ったり、うまく収まっていなかった絵がありましたが、画用紙いっぱいうまく配置され、美しい構図になっていました。

9, その他

講座名	回数	実績
にほんご学級	全 45 回 (含 2 回イベント) 毎週木曜日	19 名受講

公民館では日本語学習を希望する外国人のニーズに応え、草の根の国際交流の場を提供しています。コロナ禍で縮小していた七夕会などを再開し、受講生に大変好評です。イベントには、芦屋市国際交流課の担当者も見学に来て下さり、相互にイベント情報などを共有し、在住外国人の相談、楽しみ、学びの場となっていきたい。

また、広く市民の皆様がこの教室を知ってもらうとともに、「国際文化住宅都市」の認識を深めるべく 11 月には受講生による太極拳イベントとして、市民に開放した体験会を行う予定です。

10. 兵庫県身体障害者社会学級事業

義務教育終了年齢以上の、障害者本人や、地域のニーズを踏まえた講座を実施し、障害者の社会参加・活躍を一層促進するため、兵庫県が当該運営委員会に事業を委託している。

10. 1. 令和6年度 阪神青い鳥学級南支部芦屋教室

本年は芦屋市担当のため、学級生のニーズを把握し、連携団体、支援者をつなぎ、効果的なプログラムを実施するための連絡・調整と支援体制づくりを進めてまいりました。

(1) 概要 芦屋市, 西宮市, 尼崎市に在住の視覚障害者を対象とした教室で, 今年は芦屋市が幹事。定員 尼崎市10人 西宮市10人 芦屋市10人

(2) 内容

兵庫県教育委員会の指定する内容と、障害者グループの要望との調整を、会議を重ね議論し、次のように決めました。

9月5日 芦屋市民センター 開講式

- ① 教養講座：やさしさを生きる
- ② やさしICT講座：福祉機器の紹介

10月24日 人と防災未来センター

- ③ 社会見学 「震災追体験」「震災の記憶」「防災・減災体験」

11月23日 芦屋市民センター

- ④ 古典落語

⑤ 音楽講座 ピアノ演奏 ハンドベル演奏

第一回運営委員会を6月6日に開催した。

10. 2. 令和6年度 阪神くすの木学級 尼崎教室

(1) 概要 阪神間の7市1町(芦屋市, 西宮市, 尼崎市, 伊丹市, 川西市, 宝塚市, 三田市, 猪名川町)に在住の聴覚・言語障害者が対象の教室で, 今年は尼崎市が幹事。定員30人。

(2) 内容

9月29日(日) 10月14日(月) 11月3日(日)

会場; 尼崎市立歴史博物館、大庄北生涯学習プラザ

尼崎の歴史、バルーンアート体験、ボッチャ体験、ドローン体験

11. 広報力強化の取組み

◇公民館ホームページ

イベント告知やカレッジ、公民館講座の募集、問合せ対応に活用予定。

導入進捗状況：近日公開予定。カレッジ、聴講生、カレッジ大学院のページを拡充中。

・トップページ



トップページメニューからそれぞれのボタンをクリックで、ページにアクセス、チラシの閲覧や申込フォームへの移動、問合せメールアドレスへの容易なアクセスなどができるようになる。

◇LINE（公式LINE）

登録者への一斉連絡やイベントの案内に活用予定。

導入進捗状況：ルナホール講演会では公開中。イベント案内を配信中。そちらを見て、申し込みや問い合わせが数件あった。

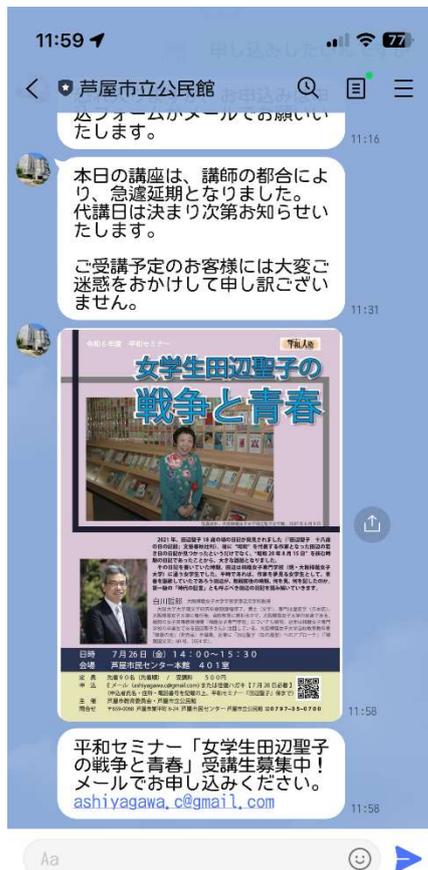
秋の講座よりQRコードを表示で運用開始。

友だち登録はQRコードをスマートフォンで読み取ってもらう。



一斉送信により告知が送りがやすく、メール等より早く目に留まりやすいことが期待される。

(受信者から見た画面)



各ボタンからアクセスが容易

(2) 【協議事項】

1. 令和5年度 秋・冬の公民館講座について

秋の講座

講座名	講師	回数・日時	定員
開講記念講座 学芸員が語るヨドコウ迎賓館の魅力 ーフランク・ロイド・ライトから温室跡の発掘調査までー	竹村忠洋（芦屋市国際文化推進室）	10月19日	100
田辺真人先生の『文化の歴史Part30』 -天災・人災と阪神間地域-	田辺真人（県立兵庫津ミュージアム名誉館長）	全6回 10月17日, 11月21日, 12月19日, 1月30日, 2月20日, 3月13日	100
世界はニュースだけではわからない	岩壺健太郎（神戸大学大学院経済学研究科教授）他	全3回 10月26日, 11月16日, 12月21日	100
西洋美術史講座 イタリア・ルネサンス美術の魅力	宮下規久郎（神戸大学大学院人文学研究科教授）	全3回 10月7日, 11月25日, 12月23日	100
日本史講座 おかねの日本史 貨幣は誰が作ってきたのか? パート2	高木久史（大阪経済大学経済学部教授）	全2回 10月5日, 12月7日	100
民俗学講座 伝統社会に学ぶ幸福のヒント	山泰幸（関西学院大学人間福祉学部教授）	全2回 10月10日, 11月7日	100
サイエンス講座 微小な世界の物理法則 ー量子論の基礎から技術応用までー	高吉慎太郎（甲南大学理工学部准教授）	全2回 11月2日, 12月14日	100
芦屋市立病院公開講座	芦屋市立病院 医師	全3回 10月12日, 11月9日 12月14日	90

冬の講座 予定

講座名	講師	回数・日時	定員
芦屋大学公開講座	未定	全2回・未定	100
芦屋市立病院公開講座	芦屋市立病院 医師	全3回 1月11日, 2月8日 3月8日	90

2. セミナー及び講演会

講座名	回数・日時	定員
家庭教育セミナー		600
消費生活セミナー	2月6日	60
親子ひろば「クリスマス会」	12月9日開催 音楽室	30

3. 公民館音楽会 (年間5回)

講座名	回数・日時	定員
「フランス音楽とバレエの世界」藤井真理子 (バレエ)、芦屋大学経営教育学部バレエコース、川内昌典 (チェロ) ほか	10月5日 1回	100
晩秋のジャズ 岩佐康彦 (ピアノ)、東敏之 (ドラム) ほか	11月16日 1回	100

*芦屋市在住、出身者を中心とした演奏家により、多様なジャンルの音楽の鑑賞機会を設ける。また、トークや解説を交えて音楽を身近に親しめるものにする。

4. 夏休み子ども教室

夏休み子ども教室は、父兄から、学校で教えてもらえないような教室、貴重な体験学習などが期待されており、来年度は、限られた予算内で、ニーズに合った児童向けプログラムの拡充をはかります。

芦屋市生涯学習出前講座で子供向けのエントリーテーマとのコラボ、芦屋市立美術博物館とのコラボなどによる体験学習を検討します。また、学友会社会貢献活動グループには夏休み子ども教室のテーマや講師の選定など相談にのってもらい、様々なプログラムを検討していただいております。

5. 兵庫県身体障害者社会学級事業

青い鳥学級の芦屋市担当は令和8年、くすの木学級は令和10年の予定です。

しかし、今年度の尼崎市くすの木学級では、市の職員5名で対応しており、障害者の対応に精通していない公民館でも、来年度の他市担当の学級に積極的に参加し、体制を整えてまいります。

要約筆記についても、芦屋市が担当した昨年はオーバーヘッドプロジェクターと透明フィルムによる手書きの要約筆記でしたが、将来に備えパソコンとプロジェクターを活用するには、パソコン要約筆記者の登録・派遣という制度も必要ですが、芦屋市の障害者福祉課の主導が望ましいと考えています。